

水上村立学校の耐震化の状況

平成20年6月18日に施行された地震防災対策特別措置法改正法で、対象となる公立学校の耐震診断の結果の公表が義務づけられましたので、水上村の学校施設の耐震診断の結果を下記のとおり公表します。

- 対象施設 :旧耐震基準の建物(昭和56年5月以前に建築確認を得て建築された建物
:非木造で2階以上又は床面積200㎡超(各棟毎)

H22.4.1 現在

学校名		構造	階数	建築年月	面積(㎡)	区分	優先度調査		第1次診断		第2次診断			改修		改修後	
							年度	ランク	年度	IS値	年度	IS値	q値	年度	IS値	q値	
岩野小学校	管理棟(職員室) 多目的ホール等 1・2年教室	RC	2	S48.9	579	旧基準	17	1			18	0.43	1.43	21	0.81	2.69	
岩野小学校	渡り廊下	RC	2	S48.9	45	旧基準	17	1			19	0.84	2.8				
岩野小学校	理科室・家庭科室 特別支援学級教室	RC	2	S48.9	501	旧基準	17	2			19	0.70	2.33				
岩野小学校	3・4・5・6年生教室 音楽室・図工室 PC室	RC	2	S50.3	264	旧基準	17	2			18	1.33	4.43				
岩野小学校	屋内運動場	S	1	S50.3	660	旧基準	18	4			20	0.78	1.81				
水上中学校	スクールバス車庫	S	1	S53.9	208	旧基準	18	4			20	1.4	3.92				

<用語の解説>・「構造」欄に「RC」とあるのは鉄筋コンクリート造「S」とあるのは、鉄骨造

・「区分」欄に「旧基準」とあるのは、新耐震基準施行(昭和56年)以前に建築されたものを言います。

・「優先度調査」は、正確には「耐震化優先度調査」といい、学校の設置者が、どの学校施設から耐震診断を実施すべきか、その優先度を検討する事を目的として実施するもので、優先度の高いものから順に、1から5までのランク付けをすることになっています。

・「第1次診断」個別の建物の耐震性能を簡略に評価する診断方法です。

・「IS」(構造耐震指標)は、建築物の耐震性能(地震に対する安全性)を数値化したもので、その値が大きいほど耐震性能が高いことを表します。国土交通省告示等によれば、第1次診断により算定したIS値が、0.8以上の場合及び第2次診断等により算定したIS値が0.6以上の場合、耐震性があるということになります。

・「q」(保有水平耐力に係る指標)は、地震による水平方向の力に対して建物が対当する強さを表すものでその値が大きいほどよく、1.0以上が目標値とされています。